

令和4年度まちづくり座談会における質問・要望事項と回答

■十王地区：12月15日（木）午後7時～8時30分 参加者数33名
（うち、15人町職員）

【マイナンバーカードについて】

《質疑応答》

- Q. マイナンバーカードは身分証明書として年に2、3回程度使用している。マイナンバーカードでできることとして実際の使用例はあるのか。
- A. （町民課長）マイナンバーカード保険証に対応している医療機関において、健康保険証として使用できる。また、ワクチン接種証明書アプリで割引を受けたり、マイナポータルで自分の税情報や健康診断の情報をスマホやパソコンから確認することができる。
- Q. 医療機関を受診する際、健康保険証の有無は聞かれるがマイナンバーカードの有無は聞かれない。マイナンバーカードを提示した方がよいのか。
- A. （町民課長）マイナンバーカード保険証で受診いただくと、医師が受診者の健診結果や薬の情報を見て診断に役立てることができる。実施しているかは医療機関によって異なる為、受診した際に確認いただきたい。
- Q. マイナンバーカードの使い方やメリットについて情報を発信していただきたい。
- A. （町長）現在は申請いただくと20,000ポイントの付与がある。今後はさまざまな情報がマイナンバーカードに一元化となってくる。乗り遅れることなくこの機会にお作りいただきたい。
- Q. マイナンバーカードの交付率が51.4%とあるが、年代別の内訳はあるのか。また、現在の健康保険証が利用できなくなる可能性はあるのか。
- A. （町民課長）交付率は0歳から30代までが43%～48%。
40代は52%、50代55%、60代61%、70代56%、80代40%で若い世代に浸透していない。健康保険証については令和6年の秋頃からマイナ保険証となるが、厚生労働省では、マイナンバーカードを持たない人も医療を受けられるような体制を検討するとのことである。

- Q. 雪押場について承諾していないのに雪が押されている事案があるようだ。雪押場についてはどのようにお願いをし、承諾を得ているのか教えていただきたい。
- A. (建設課長) 事案の場所を教えてください現地確認をさせていただく。雪押場については、広報等で広く呼びかけをしている。また、除雪業者から個別に要望があれば、建設課職員が出向き地主へお願いをし、確保をさせていただいている。住宅密集地は雪が溜まるため排雪により道幅を確保していきたい。
- (町長) これまでの経過で雪押場になっている場所がある。過去には地主の代替わり等でトラブルもある。地域の実情は地域の皆様が一番わかるため、安心安全のために区長や町内長に雪押場確保のご協力をお願いしたい。
- Q. 高齢者宅の雪下ろしや道路から玄関までの除雪についてはどのような配慮をいただいているか。
- A. (健康福祉課長) 非課税世帯で高齢者のみ世帯や障がい者手帳をお持ちの世帯の玄関先から道路までの雪掻き支援、雪下ろし費の助成事業を行っている。各地区の民生委員から情報をいただき支援をしている。
- Q. 雪の影響で2町内の空き家の小屋が道路に倒壊した。建設課に早急に対応いただいたが、所有者がそのままの状況で放置している。さまざまな空き家があり、町としての今後の空き家への考えをお聞かせいただきたい。
- A. (建設課長) 当該空き家については、所有者に「適正管理のお願い」の通知分を送付している。今年度、地域の皆様にご協力をいただき空き家の実態調査を実施したが、危険な空き家が増加している状況。毎年、所有者等へ適正な管理を促しており、利活用可能な空き家については空き家バンクへの登録を促している。危険な空き家については、所有者の考えを聞きながら適正な管理や町の解体補助事業のご案内をしている。
- Q. 有害鳥獣への対策をお教えいただきたい。
- A. (農林課長) 電気柵が効果的であり、電気柵設置への支援をしている。家庭菜園への補助もおこなっており、また、地域でまとまって広域的な取り組みをする際は補助率を上げている。また、草刈等をしていただき山と人の住む境をはっきりさせて有害鳥獣へアピールすることも効果的である。実のなった柿の木などの放任果樹にも寄ってくるため、そういった放任果樹をなくすことも必要であり皆様にもご協力いただきたい。

- Q. 自治体で空き家内の家財道具やゴミを処理し、移住者を迎えていたりする事例がある。解体よりも新しい活用の仕方を町で提案できるといいと感じる。
- A. (町長) 空き家内の家財道具やゴミの処理は権利の問題もあり、町で対応することが難しい問題ではあるが、そういった事例もあるとのことで今後検討をさせていただきたい。
- Q. 紅花生産量日本一だが、生産者の高齢化も進んでおり町ではどのように紅花を発展させていこうと考えているのかお教えいただきたい。
- A. (町長) 高齢化が進んでおり転換期を迎えている。中山の紅花畑の取り組みについては大変良かったと感じているが、継続していくには莫大な経費がかかる。紅花は町のPRにもなっているため、今後の取り組みについて検討をし、地域の皆様にもお力添えをいただきたい。
- Q. 瀬戸山で水路の形状により雪解け水が流れ込み、水が溜まる箇所がある。大雨が降れば水が溜まり、床下浸水や対面の土手が崩れる心配がある。民地もあるが町にも協力いただき工事等を実施いただけないか。
- A. (町長) 国道 287 号線を横断している水路は県との協議も必要となるが、生命や財産を脅かされる問題であるため前向きに対応をさせていただきたい。